

日本経済入門 I

科目ナンバリング ECP-101
選択必修 2単位

岡本 勉

1. 授業の概要(ねらい)

コロナ感染で、テレビのワイドショーは、キャスターもコメンテーターも、口をきわめて、政府の対策を批判しています。批判するのはいいのですが、その内容がめちゃくちゃです。たとえば、同じワイドショーで、キャスターが「政府の対策が遅い」「もっと厳しい対策が必要だ」と言ったかと思うと、そのすぐ後で、「政府の自粛要請で飲食店の経営が厳しくなっている」という現場中継をします。

よく考えると、無茶苦茶でしょう？

経済学的に言うと、コロナ対策と経済の活性化が、「トレードオフ」の関係にあります。

究極のコロナ対策は、日本人がみな家にこもり、絶対外出しないことです。

一方、経済を活性化するには、日本人がこぞって外出し、食事をし、買い物をするのが効果的です。

コロナ対策と経済の活性化は、両立しないわけです。これを「トレードオフ」と言います。

テレビのワイドショーは、コロナと経済がトレードオフにあることを理解していません。

そして実は、トレードオフの状況は、大変批判しやすいのです。

政府がコロナ対策を優先すれば、「経済はどうした!」と批判すればいい。

経済を優先すれば「コロナが広がってもいいのか」と批判すればいい。

ワイドショーにとっては、これほど、番組を作りやすい状況はないのです。

言い換えれば、これほど、無責任な話はありません。

大学は、最高学府と呼ばれ、教育体系の頂点に位置します。その大学で学ぶ私たちが、無責任なワイドショーにうかうかと乗るようでは、はずかしい。

私たちは、事実を知らないまま、テレビに引っ張られて批判したり非難したりすることが、しばしばあります。

事実を知らないで、ただ批判だけするというのは、無責任です。

読売や朝日、日経、産経のような新聞は、ワイドショーとは違い、毎日、しっかりしたニュースを報じています。

テレビでも、NHKは、朝7時、正午、夜7時に、ニュースを放送しています。

新聞もNHKも、まず、政治、経済のニュースから報じます。君は、そのニュースが理解できますか？

帝京大学に入り、経済学部で1年生になった君に、あるいは、進級して2年生、3年生、4年生になった君に、経済の基礎、とくに日本経済の過去、現在を知ってもらおう。

経済学部の学生としては、ずかしくない知識と考え方を持ってもらう。それが、この講義の狙いです。

1年後には、この講義を聴くすべての君たちが、新聞やNHKのニュースが分かるようになったと言えるようにしたいと思います。

2. 授業の到達目標

講義は、春学期のⅠと、秋学期のⅡに分かれます。

春学期は、日本経済の基礎的な知識を学びます。

「そうか、経済って、おもしろいんだ」「そういうことだったのか」と理解することを目指します。

秋学期は、春学期より一歩踏み込んだ内容を学びます。

そして、新聞やNHKのニュースが、「なるほど、そういうことか」と分かり、ニュースの内容を、君が、君の家族に説明できるようになることを目指します。

3. 成績評価の方法および基準

講義では、毎回、その回の講義を聴いた感想を書いてもらいます。

あるいは、毎回、講義に関連した課題を出し、その場で答えを書いてもらいます。

それを通じて、普段の評価とします。

コロナの感染状況によって、万一、オンライン講義になった場合は、音声による解説と、文字で書いた資料を帝京大学のLMSにアップします。そして、最後に、毎回、課題を付けます。課題の提出で、その回の出席とします。

最終回の15回目を授業内試験とします。

最終的には最後の試験の成績で評価をします。ただし、5回の講義・試験のうち、最低でも10回出席してください。10回以上出席しないと、単位は出せません。

当然ですが、10回以上出席しても、試験を受けないと単位は出せません。

4. 教科書・参考文献

教科書

新聞、テレビ、あるいはネットでもかまいませんが、毎日のニュースを、しっかりウオッチしてください。

新聞を取っている人は新聞を読み、取っていない人は朝か夜のNHKニュースを見るよう、心がけてください。

特定のテキストは使用しません。

参考文献

適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

経済は、すべてのことの土台になります。経済は、政治、国際、社会のすべての分野に関係してきます。

スポーツにも経済が関係します。例えば、東京五輪が、なぜ最も暑い真夏に開かれたか、知っていますか？

実は、夏の五輪には、経済が関係しています。

君は、ニュースの渦巻く世界で生きています。

いま、日本と世界で、何が起こっているのか、日々のニュース、あらゆるニュースにしっかり関心を持ってください。

6. その他履修上の注意事項

第一に、この講義は、大きなニュースが発生すれば、そのニュースをテーマにして進めていきます。一応、講義の内容をシラバスとして書いていきますが、ニュースの状況によって、シラバスとは関係のない講義とすることも、しばしば、起きると思います。そのため、この講義は、必ずしも、シラバス通りに進むとは思わないでください。このシラバスは、あくまで、ひとつの参考として考えてください。

第二に、この講義のためのノートを一冊、用意してください。小さなノートではだめです。大きなノート、A4サイズのノート、いわゆる大学ノートを用意してください。授業でも話をしますが、いま、日本も欧米も、書類は、A4が正式な規格です。講義の内容を、しっかりと、ノートに取ってください。そして、大事なことは、講義ごとに1冊ずつ、ノートを取ることで。日本経済入門で1冊、ライフデザインで1冊、ほかの経済の科目でも1冊ずつ、です。1冊のノートに、いろんな講義の内容をごちゃごちゃに書き込んではいけません。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス

大学での心構え、勉強の仕方、講義の進め方などを、説明します。

【第2回】 コロナ対策のお金はどこから出ているのか？

日本では2020年1月に、初めてのコロナの感染が確認されました。その後、政府は、コロナに対応するためのたくさんの政策が打ち出してきました。君たちにも関係したのは、2020年、国民一人ひとりに配られた10万円です。テレビのワイドショーでは、それを、決定が遅いとか支給が遅いとか、さんざんに批判していました。君たちも、ワイドショーを見て、政府を批判したかもしれません。では、問います。その10万円、政府は、どうやって調達したのでしょうか？ それを知らなければ、政府を批判しても、まったく意味がありません。あの10万円は、政府が補正予算案というものを作成し、国会に提出して、与野党で審議し、国会で可決して、ようやく、財源が確保できたのです。それだけの手続きをすると、当然、時間がかかります。でも、それが、民主主義です。そのことを、理解してもらいます。

【第3回】 世界における日本のポジションを知っていますか？

今回と次回で、日本経済の基本的なデータを確認してもらいます。日本は、世界経済でどんなポジションにあるでしょうか。各国の経済の大きさを比べるには、どうすればいいでしょうか。日本は、実は、GDPで見ても、いまも世界第3位の経済大国です。世界における日本の位置を知ってもらいます。

【第4回】 日本は広い海洋国家であること

日本は面積的に小さな国と見られることがありますが、それは、とんでもない誤解です。日本の面積は37万km²あり、ドイツやイギリスより広いのです。北海道だけで、韓国と同じぐらいの面積があります。ちょっと驚くでしょう？ 日本は島国というイメージもありますが、逆にいうと、海が広大です。排他的経済水域(EEZ)は、世界の第6位という広さです。日本は広い海洋国家です。日本についての誤解を払拭してもらいます。

【第5回】 東京五輪はなぜ真夏に開かれたのか？ 1回目

2021年の東京五輪は、コロナ禍をはねのけて、無事、開かれました。しかし、なぜ、東京五輪は、暑い暑い7月から8月にかけて、開かれたのでしょうか。前回、1964年の東京五輪は、日本のベストシーズン、10月に開かれました。それがどうして、2021年は、7月、8月なんだろう。それは、五輪を取り巻くお金の事情が絡むからです。いまや、五輪は、経済の動きによって、動くようになりました。

【第6回】 東京五輪はなぜ真夏に開かれるのか？ 2回目

国際五輪委員会(IOC)は、そう簡単には、五輪の開催を中止しません。なぜか？ 中止すると、IOC に入るお金、収入が激減するからです。もちろん、お金だけではありません。ほかにも、五輪が夏になってしまう原因がいろいろあります。五輪は、すっかり変質してしまいました。その背景を探ります。

【第7回】 コロナと日本経済

コロナの影響で、日本経済は、成長が鈍化しました。では、経済の成長は、どうやって計測するのでしょうか？ それがGDP(国内総生産)です。日本のGDPの中身は、どうなっているのか？ コロナで、GDPは、どう減ったのか？ そして、どう回復しているのか？

【第8回】 コロナと日本の財政

コロナで景気が落ち込み、政府は、コロナ対策だけではなく、大きな経済対策を何度も打ちました。経済対策の中身を、君は、知っていますか？ 対策には財源が必要ですが、その財源を、政府は、どうやって確保するのでしょうか？ テレビのワイドショーは、無責任ですから、その財源のことも知らずに、政府の対策を批判します。結論からいうと、経済対策の財源は、国債を発行して調達します。国債を出すと、日本の財政赤字は、増えます。コロナで、日本の財政赤字は、拡大してしまいました。対策を打つのも、大変なんですよ。その実態を見ます。

- 【第9回】 日本の財政赤字
日本の財政赤字が大きいということを、君たちも、よく聞くとおもいます。
では、赤字は、どのくらい大きいのか。
世界各国は、どうなっているのか？
それを勉強します。
- 【第10回】 日本と少子高齢化 1回目
日本は少子高齢化だということを、ニュースでよく聞くとおもいます。
でも、日本の総人口は、いま何人いるか、知っていますか？
出生率って知ってる？
少子高齢化、少子高齢化というけれど、説明してよ、と言われると、説明できないでしょう？
その実態を学びます。
- 【第11回】 日本と少子高齢化 2回目
団塊の世代という言葉聞いたことがありますか？
第一次ベビーブームと、第二次ベビーブームのことを聞いたことがありますか？
日本はどうして子供の数が減ってきたのでしょうか。
じゃあ、世界各国は、どうなっているのでしょうか。
そもそも、日本って、本当にそんなに人口少ないの？
- 【第12回】 年金は不足するのか？
若い君たちに、年金の話は、まだピンと来ないかもしれません。
しかし、老後の生活に、年金だけではどうしてもお金が足りないという話を聞くでしょう？
本当にそうなんだろうか？
そもそも、年金って、何？
年金が足りないって、そもそも、どういうこと？
- 【第13回】 GAFA
経済は、冒頭に述べたように、幅広い分野を扱います。
今回は、がらりと趣を変えて、GAFAをやります。
君は、GAFAが何を意味するか、分かりますか？
GAFAって、何？
日本にはGAFAはあるのだろうか？
- 【第14回】 G7サミット
毎年、だいたい夏前に、G7サミットという国際会議が開かれます。
G7サミットという言葉聞いたことがあると思います。
では、G7って、何でしょう。
日本はG7サミットがスタートしたときから、重要な一員です。
G7サミットに入りたいという国も少なくないのですが、G7サミットって、入れるの？
G7サミットの歴史と現状を学びます。
- 【第15回】 まとめと試験
最終回の15回目は、期末の試験をします。